

第728回大学院医学系研究科・医学部 倫理委員会A議事要録

日時 2023年01月10日（火）15:00～15:20  
 場所 WEB開催  
 出席者 山内委員長、久米副委員長、深柄副委員長、赤林、加藤、春名、大島、仲上、瀧本、奥川、別所、橋爪、松留、入江 各委員  
 欠席者 藤本、神出 各委員  
 陪席者 山崎、荒川、平戸、田邊、近藤、加藤、菊池、一井、石原、牛村、本多、佐々木（以上、研究倫理支援室）

○前回の委員会議事要録の確認が行われた。

○報告事項

1. 既に承認されている案件について、軽微な変更と認め委員長一任で承認した報告が行われた。

番号	申請者	所属	職名	研究課題
11742-(1)	阿部 修	放射線科	教授	筋筋膜痛症候群の中枢における疼痛反応に関する研究
2020017NI-(1)	仲上 豪二郎	老年看護学／創傷看護学	教授	エコーを用いた大腸内視鏡検査時の便貯留評価による下剤内服量調整の検討
2496-(3)	古川 克子	工学系研究科バイオエンジニアリング専攻	准教授	ヒト血液による再生血管の開発
2420-(4)	古川 克子	工学系研究科バイオエンジニアリング専攻	准教授	ヒト血液を用いた血液適合性材料のスクリーニング実験
2021140NI-(2)	中井 陽介	光学医療診療部	准教授	ゲムシタピン塩酸塩+ナブパクリタキセル併用療法を開始する膵癌を対象とした、CIPN評価法の前向き観察研究
1494-(19)	吉川 健啓	コンピュータ画像診断学／予防医学（寄付講座）	特任准教授	経時的画像解析とコンピュータ支援検出（CAD）を応用した加齢および成人病に関する疫学的研究（包括申請）
2020339NIe-(4)	藤尾 圭志	アレルギー・リウマチ内科	教授	自己免疫疾患における患者レジストリを包含した難病プラットフォーム体制の構築と、それを利活用した長期にわたる全国規模の多施設共同研究
11979-(4)	吉内 一浩	心療内科	准教授	過敏性腸症候群に対するビデオ教材を併用した認知行動療法プログラムのランダム化比較研究
2020276NI-(1)	隈丸 拓	医療品質評価学講座（社会連携講座）	特任准教授	ロボット手術術者のラーニングカーブの研究
11632-(2)	大江 和彦	企画情報運営部	教授	患者の在宅健康医療データ連携システムの実証的研究（多施設共同研究）
3840-(4)	金生 由紀子	こころの発達診療部	准教授	トゥレット症候群における衝動性に関する調査研究
2020278NI-(2)	松本 卓巳	整形外科・脊椎外科	講師	本邦における外反母趾の頻度に関する全国規模の横断研究
2021240NIe-(3)	奥原 剛	医療コミュニケーション学	准教授	Patient Education Materials Assessment Tool (PEMAT) 日本版による慢性腎臓病(chronic kidney disease: CKD)患者向けウェブ動画の評価
3661-(9)	中井 陽介	光学医療診療部	准教授	光学医療診療部診療記録を利用したデータベースの包括的後ろ向き解析
0695-(21)	吉崎 歩	皮膚科	講師	末梢血・皮膚組織における皮膚疾患関連分子の発現に関する研究
2019252NI-(5)	鈴木 伸三	消化器内科	助教	人工知能 (artificial intelligence、AI) による胃癌・大腸癌発生予測画像診断システムの構築
2022195NI-(1)	吉内 一浩	心療内科	准教授	非摂食障害患者を対象とした日本語版 EDE-Q スコアの調査

2019231NI-(5)	佐藤 悠佑	泌尿器科・男性科	講師	高リスク筋層非浸潤性膀胱がんに対するPDD-TURによる残存腫瘍減少効果の検討 (BRIGHT study)
2021349NI-(2)	吉内 一浩	心療内科	准教授	神経性やせ症に対する認知行動療法の無作為比較試験
10619-(28)	杉本 宏一郎	眼科	助教	緑内障性視野障害進行予測モデルの構築
2020203NI-(1)	宮川 卓也	皮膚科	講師	ニボルマブ＋イピリムマブで治療される悪性黒色腫患者における腸内細菌代謝産物の臨床的意義に関する前向き観察研究
2021334NI-(1)	竹本 国夫		代表取締役社長	ヒト歯髄幹細胞培養上清液を基にした有効成分原料化の研究
2021117NI-(3)	中島 淳	呼吸器外科	教授	JANP study 中止後における肺癌周術期ハンプ投与の安全性に関する臨床研究
11863-(4)	間中 勝則	腎臓・内分泌内科	助教	チアマゾールで加療中の甲状腺機能亢進症患者におけるチアマゾールの血中濃度と組織中濃度測定
11306-(6)	雨宮 貴洋	薬剤部	助教	免疫チェックポイント阻害剤に対する治療応答性予測バイオマーカーの探索
2022203NI-(1)	大庭 幸治	生物統計学/疫学・予防保健学	准教授	胃癌術後サーベイランスにおける再発に対する動的予測モデルの構築
2020345NI-(4)	上田 泰己	システムズ薬理学	教授	睡眠時無呼吸症候群の簡易診断に向けた技術開発
10461-12-(1)	牛久 哲男	病理部・人体病理学・病理診断学	教授	病理組織検体を用いた臨床研究 (包括的申請) 下部消化管腫瘍の原発巣及び転移巣を対象とした病理組織学的及び分子病理学的検討
11784-(4)	宮本 有紀	精神看護学	准教授	職場環境改善の効果を高めるための諸要因の検討と改善方法に関する研究
11884-(6)	森田 健太郎	リハビリテーション部	助教	生活臨床における生活類型・生活特徴の尺度作成と信頼性・妥当性の検討
2018115NI-(3)	田口 慧	泌尿器科・男性科	講師	前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究 (J-CaP観察研究)

## 2. 終了報告について、委員長一任で確認された。

番号	申請者	所属	職名	研究課題
11559	藤井 知行	女性診療科・産科	届出研究員	妊娠女性におけるジカウイルス感染症の診断体制構築に関する研究
10800-(1)	大谷 真	心療内科	特任講師 (病院) (助教)	日本語版Eating Disorder Examination Questionnaire (EDE-Q6.0) と Eating Disorders Quality of Life (ED-QOL) の信頼性・妥当性の検討
11810-(3)	武村 雪絵	看護管理学	准教授	中小規模病院の看護部組織に対するアウトリーチ相談型支援に関する研究
11688	樫尾 明憲	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	助教	全国人工内耳手術症例データベース作成

## 3. 追加申請について、委員長一任で承認した。

番号	申請者	所属	職名	研究課題
2021036NI-4	蔵野 信	検査部	准教授	病院残余検体・検査データを用いた医工連携研究の推進 (包括申請: 2021036NI) デジタルバイオ分析法による在宅・遠隔医療検査法の開発

## 4. 研究登録について、委員長一任で確認された。

番号	申請者	所属	職名	研究課題
2022283NIe	田倉 智之	医療経済政策学 (寄付講座)	特任教授	川崎病急性期治療の費用対効果分析研究 ーインフリキシマブ治療による患者効用、治療アウトカムと医療費に対する効果ー

2022268NIe	加藤 元博	小児科	教授	同種造血細胞移植後に再発した急性リンパ性白血病の小児・思春期・若年成人患者に対する2回目の同種造血細胞移植の成績と予後因子について
2022281NIe	南條 裕子	臨床研究推進センター	看護師長	東大病院Phase 1 ユニットにおける「ヒヤリハット報告システム」の改善に関する研究
2022278NIe	小畑 亮	眼科	准教授	日本人の特発性傍中心窩毛細血管拡張症2型に関する多施設データ解析
2022280NIe	森田 賢史	検査部	臨床検査技師	便潜血測定システムの臨床性能評価に関する研究

○議事

- No. 2022288NI (新規) 村上 健太郎 (社会予防疫学・助教) 「栄養・食事関連メディア情報に関する調査」  
 担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯 (指摘事項に基づく変更点等) について説明が行われた。  
 自然科学の有識者である委員 [REDACTED] より、データの二次利用について質問があり、内容の確認を行った。審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】 【研究の科学的合理性の確保】 【個人情報の保護】 等の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。
- No. 2022282NI (新規) 岡本 耕 (感染症内科・特任講師 (病院) (助教) ) 「臨床研修医の臨床感染症に対する認識・知識・態度と感染症教育との関連の検討」  
 担当の委員から研究の概要、個別審査における審査内容および経緯 (指摘事項に基づく変更点等) について説明が行われた。  
 審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】 【研究の科学的合理性の確保】 【個人情報の保護】 等の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。
- No. 2022286NI (新規) 土井 研人 (救急科・教授) 「患者情報システムを用いた集中治療部の機能評価 (JIPAD事業)」  
 [一括審査]  
 担当の委員から研究の概要、共同研究機関間の連携体制、一括審査依頼機関、個別審査における審査内容および経緯 (指摘事項に基づく変更点等) について説明が行われた。  
 審査の結果、【研究対象者の保護・安全性の保持】 【研究の科学的合理性の確保】 【個人情報の保護】 等の観点から、内容的に研究を行うことは差し支えないとの判断により承認された。  
**【附帯事項】**  
 ・一括審査依頼状等の取り扱いについては研究代表者の責任において収集・保管すること  
 ・新規申請・変更申請においては、審査結果および承認事項について、各研究共同機関に周知すること  
 ・各研究共同機関では、実施機関の長から機関ごとの実施許可を取得しなければ、研究を開始できないことに注意すること

○その他

- 事務局より、一括審査外部委託案件について3件報告を行った。

以 上